**2月3日Ｖ・チャレンジリーグⅠ**

**対戦相手　警視庁フォートファイターズ**

**スタートメンバー　中川、岩井、手塚、新、浅野、横田**

**リベロ芳賀**

**リーグ17戦目は警視庁フォートファイターズとの対戦。**

**1セット目、スタートは両チームともリズムをつかめない雰囲気が続く。特に富士通はチームに躍動感が見られず、ミスを連発する難しい試合となり、徐々にリードを広げられてしまう。それでも富士通は中盤から奮起し、持ち味のコンビバレーを発揮し終盤に同点に追い付く。しかし、勝負どころのあと一本を決めきれず、23-25で1セット目を奪われてしまう。**

**2セット目、流れを変えたい富士通だが、警視庁の粘り強いディフェンスの前に得点を奪えず厳しい状況が続く。中川、浅野の奮起により追い付きかけるが、ブレイクポイントを奪えず20-25でこのセットも連取される。**

**3セット目、中川から柳田、横田から加藤にメンバーを変更して試合に入る。序盤は苦しい展開が続くが富士通は我慢を続けチャンスを待つ。それでも中盤まではビハインドの展開が続く。この状況を打破したのは、岩井のサービスエースとリベロ芳賀の粘り強いレシーブ。少しずつ流れは富士通に傾きついにデュースにもつれ込む。ピンチの場面で加藤が価千金のブロックを決め、27-25で富士通がこのセットも奪い返す。**

**4セット目、流れを取り戻した富士通は、序盤は手塚のクイック、浅野のスパイクで攻める。警視庁も粘りに粘りなかなかリードはできないが白熱した試合展開となる。その後、リリーフサーバーの後藤がスーパーサーブで連続得点を奪うとそのまま押しきり25-22でついにタイブレークまで追い付く。**

**5セット目、スタートから走りたい富士通だが警視庁のサーブに苦しめられリードを許してしまう。その後、意地を見せ追い上げを見せるものの、最後はサービスエースを奪われ10-15で富士通はリーグ戦2敗目を喫した。**